

2026年度 サステナビリティアクションプラン

部署名: 機能材料事業部

| 課名 | 内外区分 | マテリアリティ(重要課題) | SDGs目標 | サステナ影響 | リスク | 機会 | コミットメント | 具体的アプローチ(アクションプラン) | 成果指標 | |
|----|--------------|---------------|---------------------------|--|-------------------|----------------------------------|--|--|---|--|
| 1 | 添加剤・ヨウ素課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 安定的な調達・供給 | 12.(つくる責任、つかう責任) 13.(気候変動に具体的な対策) | 医療健康 汚染防止と資源循環 | 資源の供給制約、規制の強化に伴う調達不安定化、ならびにコスト上昇 | 資源循環・安定供給ニーズの高まりを背景とした再生製品の供給拡大、および新規商流の創出 | 資源循環ビジネスの推進による、再資源化および持続可能な供給体制の確立ならびにさらなる促進への取組み | 回収原料の再資源化に向けサプライチェーンとの連携を通じた安定供給体制の構築および取組みを推進する | 再生原料の供給および販売実績に加え、回収・再資源化に係る取組みの推進状況、並びに新規用途・取引機会の創出状況 |
| 2 | 添加剤・ヨウ素課 | 外部の課題 | 健康で豊かな生活への貢献 安定的な調達・供給 | 12.(つくる責任、つかう責任) 13.(気候変動に具体的な対策) | 医療健康 汚染防止と資源循環 | 廃棄物の適正処理および規制対応の高度化に伴う取引継続リスク | 資源循環ニーズの高まりを背景とした循環型ビジネスの拡大 | 資源循環ビジネスの推進による、再資源化および持続可能な供給体制の確立ならびにさらなる促進への取組み | 循環資源由来原料のリサイクルビジネス拡大を通じ、循環型ビジネスの推進に関する取組み・安定供給体制の構築を推進する | 再生原料の供給および販売実績に加え、回収・再資源化に係る取組みの推進状況、並びに新規用途・取引機会の創出状況 |
| 3 | 無機フィン課 | 外部の課題 | 気候変動への取組み | 9.(産業と技術革新の基盤を作る) 14.(海の豊かさを守ろう) | 汚染防止と資源循環 | 規制の強化および環境対応遅れによる競争力低下 | 環境対応素材への需要拡大を背景とした代替素材市場の拡大 | 素材の開発・安定供給による、すべての人の健康および安心・安全な生活環境の実現への貢献 | 海洋分解性樹脂の低減に資する材料の、マイクロプラスチック代替としての用途拡大に向けた取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、提案および用途展開の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 4 | 無機フィン課 | 外部の課題 | 気候変動への取組み | 9.(産業と技術革新の基盤を作る) 14.(海の豊かさを守ろう) | 汚染防止と資源循環 | 新規素材の市場浸透の遅れ | 再生可能資源、生分解性製品へのニーズの高まりを背景とした新規市場の創出 | 生物・植物由来の原料を用いた化学製品の開発および供給を通じた、環境配慮型化学製品の安定供給体制の構築およびその普及への取組み | バイオマス系紙用添加剤を利用した、代替包装製品の開発および普及に向けた取組みを推進する | 開発・導入に関する実績に加え、製品展開および普及に向けた取組みの推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 5 | 接着剤・機能樹脂課 | 外部の課題 | 安定的な調達供給 | 11.(住み続けられるまちづくりを) 13.(気候変動に具体的な対策) 15.(陸の豊かさを守ろう) | バリューチェーン | 供給安定性、市場ニーズ、コスト、品質要求 | 原料供給の不安定化、要求の高度化による既存製品の競争力低下 | 生物・植物由来の原料を用いた化学製品の開発および供給を通じた、環境配慮型化学製品の安定供給体制の構築およびその普及への取組み | 汎用エポキシ樹脂からバイオ由来エポキシ樹脂への置き換えに向け、顧客提案および商流転換に関する取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、提案および用途展開の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 6 | 東京シリコン課 | 外部の課題 | 気候変動への取組み | 7.(エネルギーをみんなに。そしてグリーンに) | 気候変動の機会 | 価格競争の激化およびコスト上昇による収益性の低下 | 省エネ住宅需要の拡大を背景とした高機能建材の取引拡大 | 省エネ・電動化対応素材の供給および用途拡大を通じた、気候変動への対応および環境負荷低減への取組み | ZEH (Zero Emission House) / 省エネを指した住宅断熱材用UA製品の販売を通じ、省エネ性能向上に資する製品の供給および普及に向けた取組みを推進する | 販売実績に加え、製品の提案および普及に向けた取組みの推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 7 | 東京シリコン課 | 外部の課題 | 気候変動への取組み | 7.(エネルギーをみんなに。そしてグリーンに) | GHG排出量 | EV市場の成長鈍化や需要変動に伴う事業の不確実性 | EV化の進展を背景とした電池・熱対策材料の需要拡大 | 省エネ・電動化対応素材の供給および用途拡大を通じた、気候変動への対応および環境負荷低減への取組み | EV車向け放熱用途原料の販売を通じ、電池性能向上に資する材料供給および用途展開に向けた取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、用途展開および顧客提案の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 8 | 大阪シリコン課 | 外部の課題 | 気候変動への取組み | 7.(エネルギーをみんなに。そしてグリーンに) 13.(気候変動に具体的な対策) | GHG排出量 | EV市場の成長鈍化や需要変動に伴う事業の不確実性 | EV化に伴う車載電装部品向け材料需要の拡大 | 省エネ・電動化対応素材の供給および用途拡大を通じた、気候変動への対応および環境負荷低減への取組み | 自動車のEV化に伴う放熱用途材料の販売を通じ、EV化対応材料の供給および用途拡大に向けた取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、用途展開および顧客提案の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 9 | 名古屋シリコン・化成品課 | 外部の課題 | 技術革新による商いの進化 気候変動への取組み | 9.(産業と技術革新の基盤を作る) | 技術革新 GHG排出量 | 自動車市場の変動および技術革新への対応遅れ | 自動化・電動化の進展に伴う車載センサー用途材料の需要拡大対応 | 自動運転化に資する高機能素材の安定供給および用途拡大を通じた、産業の発展および新たな価値創造への取組み | 自動化運転に伴う、センサー用材料の販売を通じ、用途展開および性能向上に資する取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、用途展開および顧客提案の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |
| 10 | 名古屋シリコン・化成品課 | 外部の課題 | 技術革新による商いの進化 気候変動への取組み | 9.(産業と技術革新の基盤を作る) 13.(気候変動に具体的な対策) | 技術革新 GHG排出量 | 市場競争の激化、技術進化への対応遅れによる競争力低下 | EV化進展に伴う電子部品用途材料の需要拡大 | 省エネ・電動化対応素材の供給および用途拡大を通じた、気候変動への対応および環境負荷低減への取組み | 自動車のEV化に伴う電駆動用部品原料の販売を通じ、用途展開および性能向上に資する取組みを推進する | 販売・導入実績に加え、用途展開および顧客提案の推進状況、並びに新規取引機会の創出状況 |